

当公社は、「一般財団法人 中野市産業公社」と「信州なかの観光協会」との業務を一元化し、「一般財団法人 信州なかの産業・観光公社」として、スタートを切り3年目を迎えます。

財務面では、市の指定管理者を辞した晋平の里間山温泉公園管理運営事業の多額な累積赤字と特産物販売事業のふるさと信州中野寄附金の受託事業減による大幅な収入減により、本年度の経営環境においては大変厳しい状況が見込まれ、今後は組織体制や事業内容の見直しを視野に入れながらの運営が必要になります。

このような中、昨年から続く、まさに国難とも言える新型コロナウイルス感染症は大きな支障となり、現時点では収束の見通しも立たず、本年度においても引き続き感染防止対策を講じながら各種事業を展開してまいります。

公共施設管理運営事業については、北信濃ふるさとの森文化公園が令和4年度まで、中野市観光会館・日本土人形資料館、中野陣屋・県庁記念館及び信州中野観光センターの3施設は、令和5年度まで引き続き指定管理事業を受託しております。各施設においては、引き続き良好な管理運営を行い、施設をご利用いただく皆様の安全確保及び利便性の向上に職員一丸となって努めて参ります。

市から受託する観光振興事業につきましては、観光資源のPRと誘客、広域観光、観光宣伝素材の推進等々であり、さらに中野市の知名度向上と魅力発信、また、観光消費による地域経済効果の向上を図るため、着地型旅行商品の企画等を行って参ります。

また、定款に定める目的及び事業に基づき、地域の発展及び活性化を図るため、地域農業、地場産業及び観光の振興、都市との交流、中野市のイメージアップに関する事業を行い、もって地域の振興、住民の生活文化の向上及び福祉の増進に寄与することを目的として、下記の事業を推進して参ります。

なお、各事業の推進にあたっては、中野市、信州中野商工会議所、JA中野市、JAなかの及び関係機関・団体等と連携し取り組んで参ります。

記

1. 遊休農地活用事業

遊休農地を活用し、そば、大豆等の生産を行うことにより、遊休農地の活用を図る。また、そば、大豆等の収穫を請け負うことにより収穫労力の負担を軽減し、作付けの拡大を図る。

2. 農産物生産振興事業

農家が希望する農産物の栽培に適した遊休農地を選定して、農家と農地所有者との農地賃貸借の橋渡しを行うとともに、栽培に係る支援を実施する。

3. 農作業支援者紹介事業

農作業労力を必要とする農家と農作業支援者との紹介・斡旋により、農繁期の労働力を確保して農家負担の軽減を図る。本年度も、ぶどうの房切り作業、袋・カサ掛け作業の支援を行う。

4. 機械作業受託事業

公社が水田等機械作業を請け負い、農業用機械（田植え機、コンバイン等）を保有する農家に委託して機械作業を行う。

5. 農作業体験研修事業

市内の非農家及び学生等を対象に、市内農家での農作業体験を通じて農業への理解を深めるとともに、地元の農産物の魅力拡大、地域農業の振興を図る。

6. 地場産業振興事業

中野ひな市、市民祭シヨンシヨン祭等のイベント参加、特産物の販売等を実施し、地場産業の普及宣伝を図る。

7. 観光振興事業

管理運営を受託している観光施設のPRに努める。

中野市の滞在型、着地型観光を推進し、観光消費による地域経済効果の向上を目指し、観光振興を図る。

賛助会員に対し、観光情報の定期的な提供、ギフトカタログへの利用促進、また、賛助会セミナー、研修会を開催し情報提供を図る。

8. 旅行業法に基づく旅行業に関する事業

中野市の知名度と観光消費による地域経済効果の向上を図るため、着地型旅行商品の企画、運営等を図る。

9. 都市交流事業

ふるさと信州中野会の交流事業の支援、ふるさと情報誌の発行、特産物の情報提供を通じて中野市のPRに努める。

10. イメージアップ事業

信州中野を広く全国にPRするため、ホームページを活用し情報発信を行う。

また、公社管理運営施設において、LED等でイルミネーションの装飾等によりイメージアップに努める。

11. 特産物販売事業

市内業者、姉妹都市の仙台市、竹田市及び北茨城市の業者と連携し、ギフトカタログの商品の販売を行い、ホームページを充実させ、中野市の農産物、特産品等の消費拡大と地場産業の振興を図る。

12. 公共施設管理運営事業

中野市が設置している次の公共施設の指定管理者として、効率的に維持管理を行うとともに、魅力あるイベントの開催や創意工夫により誘客及びサービスの向上に努める。

- (1) 北信濃ふるさとの森文化公園
- (2) 中野市観光会館・日本土人形資料館
- (3) 中野陣屋・県庁記念館
- (4) 信州中野観光センター